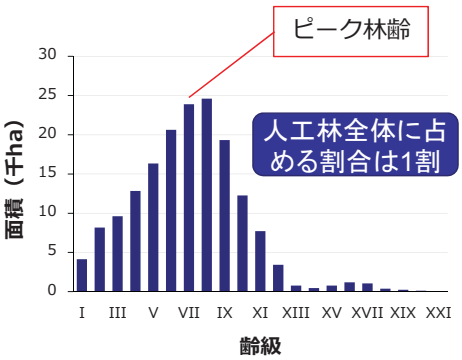
アカエゾマツ間伐シミュレーションソフトウェア及び改訂版アカエゾマツ人工林施業の手引の紹介

林業試験場　森林経営部　経営グループ　竹内史郎・滝谷美香
林業試験場　道南支場　津田高明

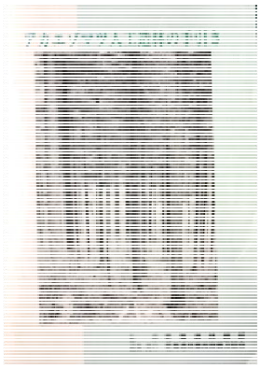
研究の背景・目的

- アカエゾマツ人工林はⅧ齢級付近(40年生程度)に林齢のピークが来ており、利用間伐の増加が予想されます。
- いままでの手引（右図）は資源が未成熟だった頃に作られており、現状への対応が難しくなっています。
- また主要人工林樹種で、アカエゾマツだけ全道対応の収穫予測システムがありませんでした。

☆そこで、アカエゾマツ人工林の収穫予測ソフトと新しいアカエゾマツ人工林施業の手引を作成しました。



エゾマツ類の齢級構成（H27 ）

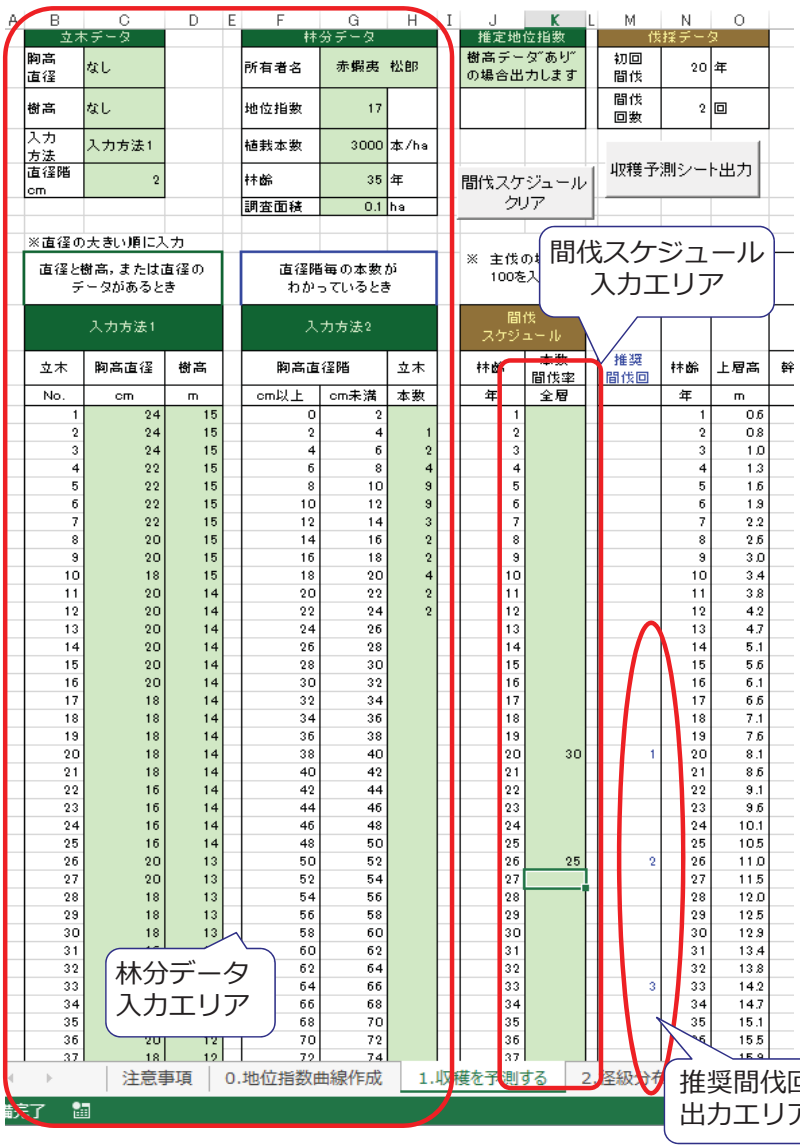


収穫予測ソフトでできること

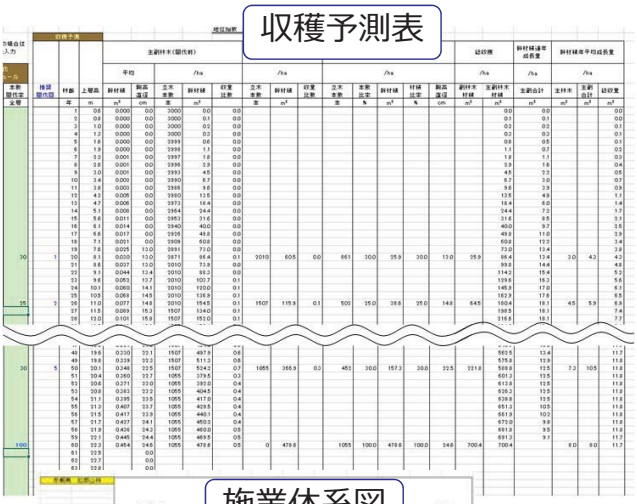
現在の林分情報

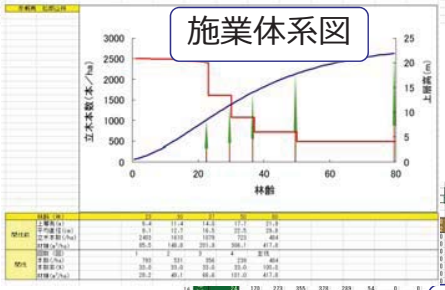
1. 標準地の樹高と胸高直径がわかっている場合
2. 標準地の胸高直径階別本数がわかっている場合
3. これから新しく植栽する場合

将来の収穫予測



出力結果





新しいアカエゾマツ人工林施業の手引

収穫予測ソフトから作成しました

会場のPCで公開中

林業試験場HPからダウンロード
http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/index.html